

エミュファイター®防火帽NEO-P23型

しころ付仕様書

熱海市消防本部

## 1. 総則

労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定（以下「労安法」とする。）に基づく保護帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号）に適合するもの及び、平成29年3月7日策定の総務省消防庁発行の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準拠するものとする。

## 2. 仕様

### 1) 規格

この防火帽はエミュファイター®防火帽NEO-P23型（当本部指定）とし、しころは当本部指定防火服と同色ジーバリア®ライト生地を使用したエミュファイター®しころ（当本部指定）とする。

防火帽の構成等については5. 別表 1) の通りとすること。

### 2) 性能

帽体については、自己消火性を有することとし、試験規格等については5. 別表 2) の通りとすること。

## 3. 構造

### 1) 概要

この防火帽NEO-P23型は、シルバー色に仕上げ、焼付塗装とし容易に剥離しないものであること。帽体内側には衝撃吸収ライナー、装着体、あご紐、顔面保護板を取り付けること。顔面保護板は、視野の障害にならない位置で、帽体内部に収納できるものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。また帽体外部にはヘッドライト取付用のドット釦を両サイドに取り付けたものとする。

ヘッドライト取付用のドット釦付のバンド2本付属とする。

### 2) 形状等

#### (ア) 帽体

##### ① 本体

(A) 表面は滑らかで、堅牢であること。

(B) 帽体表面の仕上げは、シルバー色の塗装とし、容易に剥離しないこと。

##### ② 徽章等

(A) 帽体前面中央に塩ビ反射署（大）を取り付ける。

(B) 帽体の両側面に「熱海市消防本部 ATAMI FIRE DEPARTMENT」と黒色・丸ゴシック体にて表示すること。

(C) 帽体の後部より熱海市型青色特殊線入れとすること（別図参考）。

(D) 帽体の後部の上部に階級シール入りとすること（別図参考）。

##### ③ 掛け金具

帽体後部中央に半月環状の掛け金具を取り付けること。

##### ④ 識別表示取付台座

指定の識別表示を耳側両サイドに取り付け可能なパーツを取り付けること。

##### ⑤ ヘッドライト取付用釦

帽体両サイドにドット釦（オス）を取り付けること。

(イ) 着装体

①ハンモック

かぶり深さを調整できる、補助ハンモック付とすること。

②ヘッドバンド

頭回りに応じて概ね54cmから65cmまでの範囲で調整でき、またダイヤルラチェット式により、着装時でも容易に調整可能でフィット感が高いものとする。

③しころ取付板

(A) しころ取付用として、帽体に取り付けること。

(B) しころ取付板には、ドット釦（オス）を5個取り付けるものとする。

④内装一体カバー

内装周り・ラチェット部に面ファスナーで固定出来るカバー付とすること。

⑤あご紐

あご紐はワンタッチ式とする。

⑥衝撃吸収ライナー

難燃性を施した発泡スチロールとする。

⑦顔面保護板

(A) 帽体ひさし部より内部の視野の障害にならない位置に収納出来るものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。

(B) 顔面保護板を降ろした状態で、帽体と顔面保護板の間に隙間がないこと。

4. 別表

1) 防火帽の構成等一覧

項目	規格等	
帽体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック	
衝撃吸収ライナー	難燃性を施した発泡スチロール	
着 装 体	ハンモック	ポリエチレン成型品
	補助ハンモック	ポリエチレン成型品
	しころ取付板	ナイロン成型品
	ヘッドバンド	ナイロン成型品・ラック式ダイヤル部（POM樹脂）
	補助ハンモック調整ひも	ポリエステル又はナイロン製、白色、長さ約350mm以上 両端ほつれ止め処理
装着体固定リベット	防食性を有する金属製	
あごひも	メタ系アラミドとパラ系アラミドの混紡糸平織り袋とじ幅約18mmとする。メタ系アラミドは原材着色とする。	
あごひも調整金具	黄銅製または同等の強度及び防食性を有する金属製 (黒色ニッケルメッキを施したもの)	

顔面保護板	ポリカーボネード板（両面をハードコート・防曇加工） 縦 約120mm±5mm 横 約190mm±5mm 厚さ 約1.6mm
重量	980g以下（防火帽のみ）

2) 試験規格等

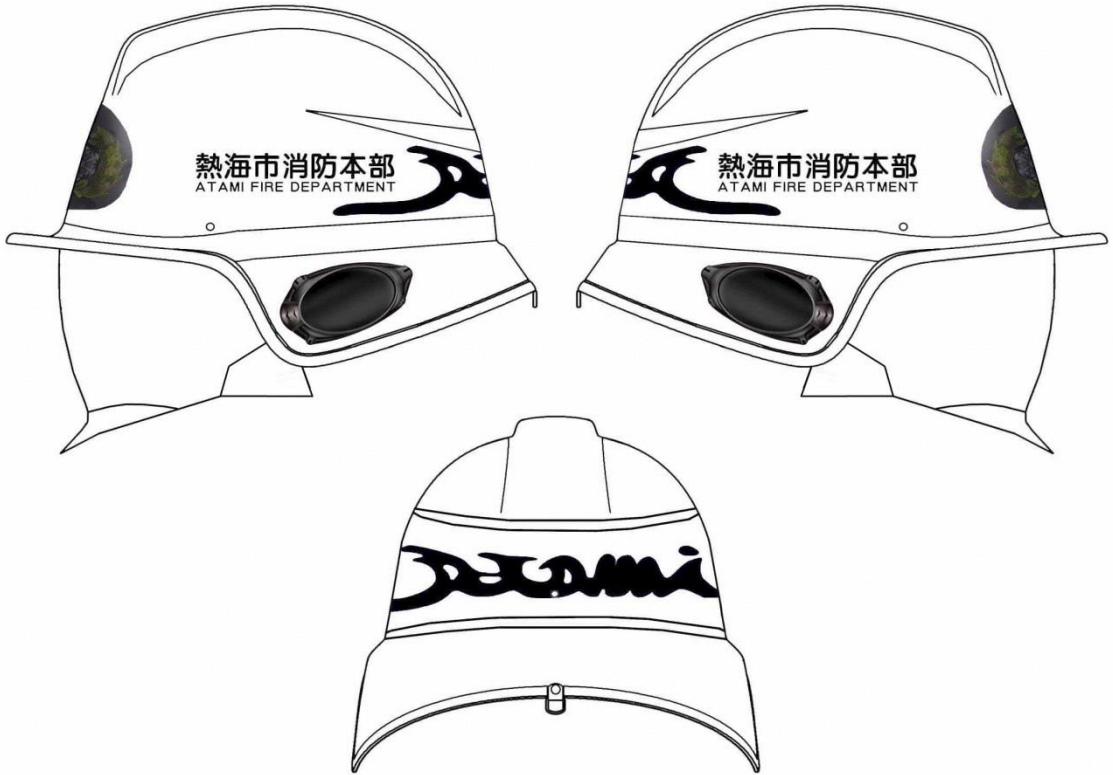
項目	規格等
耐炎性	ISO11999-5:2015 帽体素材・シールド：残炎及び残光<2秒 帽体塗装部分：残炎及び残光<5秒 あごひも：残炎及び残じん<2秒 溶融・滴下不可
熱伝達性	ISO11999-5:2015 手順B 熱流束40Kw/m <sup>2</sup> 3分 ・人頭模型表面温度 試験開始後180秒<24℃ ・帽体材料分離、滴下不可 ・試験箇所周囲の帽体に機能を損なう膨張、変形亀裂、穴あき不可
耐熱性	ISO17493:2000 熱風循環炉 180℃5分 溶解、滴下、分離不可、発火不可収縮率≤5%
衝撃吸収性	EN13087-2:2012（落下体法） 衝撃エネルギー：123J 頭部衝撃荷重≤15KN
耐貫通性	ISO16073:2011 ストライカ 1kg ストライカと検知部に接触がないこと。
耐側圧性	ISO11999-5:2015, 4.5.11 初期荷重30N時の側圧寸法に対し630N時の最大変形≤40mm、30N時の残留変形≤15mm
保持装置強さ	ISO1999-5 初期荷重30N 250N負荷において全体最大の伸び≤20mm、あご紐の最小幅≤15mm
耐電圧性	EN13087-8:2000, 5.2 導電性試験 破損の兆候不可 漏れ電流≤1.2mA
	残炎・残じん時間：5秒以下

帽体の自己消火性	プロパンガス（純度95%以上）をブンゼンバーナー（口径10mm）を使用して、青色炎が20mmとなるように調節して燃焼させ、帽体のつば後部中心から左右50mm、縁から20mmの位置を試験点とし、帽体のつばを水平に保持し炎の先端を試験点に10秒間当てた後、炎を取り去り、帽体の残炎・残じん時間を調べる。
	J I S T-8131：2000難燃性試験による。

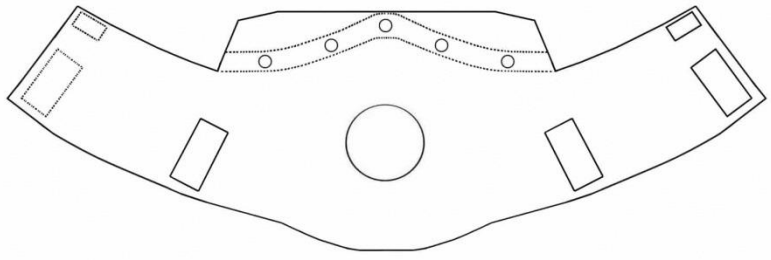
#### 5. しころ

- 1) しころは1枚裁ちとし、汚れ等の欠点のないものとする。
- 2) メタ型アラミド53%パラ型アラミド47%色ジーバリア®ライト生地ネイビー色とリップを、重ねて縫い合わせたものを使用すること。
- 3) 裏面上部へりを、綿テープにより補強する。
- 4) 顔面を覆う折り返しを外衣生地で縫い付ける。
- 5) 裏面リップ織生地と表面生地の上に防水布を入れた新ガイドライン積層とする。
- 6) 中央にワッペン用直径8cm円形メス面ファスナー付きとする。
- 7) しころワッペンは赤色又は黄色反射生地使用し指定の文字を黒色にて刺繍入りとする（別図参照）。
- 8) 両端は面ファスナー止めとする。
- 9) 片布を裏面に縫い付ける。

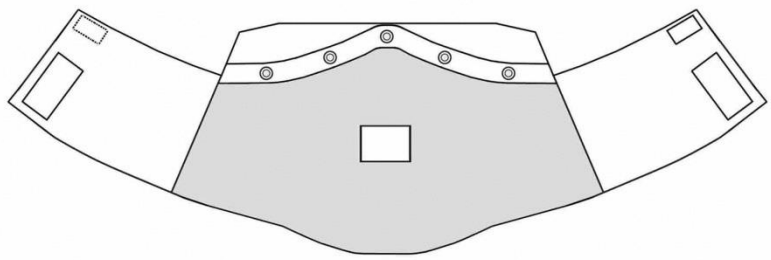
#### 6. 別図



表



裏



本

南

泉